

県内で発生している

特殊詐欺の主な手口

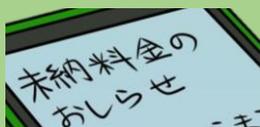


架空料金請求詐欺



●名義貸しトラブル名目

不動産会社などを名乗って「老人ホームの**入居権利**を他人に譲るのは**名義貸し**で犯罪になる、**解決費用が必要**」などと言って現金をだまし取るもの。



●未納料金名目

企業などを装って「利用サイトの**未納料金**がある」などという**メール**を送ったり、**電話**をかけたりして、現金をだまし取るもの。



●サポート名目

インターネットサイトを閲覧中、**警告音**とともに**警告画面**が表示され「**ウィルスに感染**している、**サポート代金**として**電子マネー**が必要」などと言って、金銭をだまし取るもの。

金融商品詐欺



●投資勧誘名目

LINEなどで投資を勧誘し、**投資アプリ**へ誘導のうえ**投資方法**などを**アドバイス**して、金銭をだまし取るもの。

キャッシュカード型 (預貯金詐欺・詐欺盗)



●証拠品名目

金融機関職員などを名乗って「**キャッシュカード**が古いので**交換**する必要がある」などと言って、**カード**をだまし取ったり、すり替えて盗むもの。

還付金詐欺



●医療費名目

市役所職員などを名乗り「**医療費**の**還付**がある、**ATM**で**受け取り**の手続きができる」などと言って、**ATM**の操作方法を偽って振込みをさせ、だまし取るもの。

オレオレ詐欺



●損失補填名目

息子等を名乗り「**会社のお金**が入った財布を落とした、**今日中**にお金が必要」などと言って、現金をだまし取るもの。

電話口 お金の話 それは詐欺!